

# 平成 25 年度多元系化合物・太陽電池研究会 年末講演会のご案内

**主催：**応用物理学会 多元系化合物・太陽電池研究会

**日時：**2013年11月22日（金）～23日（土・祝）

**場所：**宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター 総合開発推進棟 1F 大会議室  
(茨城県つくば市千現2-1-1) <http://www.jaxa.jp/about/centers/tksc/>

## 趣旨：

応用物理学会多元系化合物・太陽電池研究会は、1986年にカルコパイライト半導体による太陽電池および発光素子材料などを研究対象として立ち上げられた「多元系機能材料研究会」をルーツとし、2004年に「多元系機能材料研究会」に名称変更され、2013年からⅢ-V族化合物半導体も含めた「多元系化合物・太陽電池研究会」に拡大・発展を致しました。ここでは、主に既存の単元素系および単純な二元系の化合物にない特性あるいはより優れた機能をもつ多元系材料および化合物半導体に関する研究を推進することを目的として活動しています。本研究会では毎年、年末講演会を行ってきました。新たにⅢ-V族化合物半導体が含まれたことから、今年度は最新の高效率多接合太陽電池について豊田工業大学の山口先生ほかに招待講演いただき、またその後に関連したディスカッションのセッションを企画しております。なお、一般講演においては、多元系化合物太陽電池および関連材料・デバイスに関する分野だけでなく、発光材料と光物性・酸化物・磁性体・熱電材料などの分野も含めて、多元系に関する広範囲な内容を対象としています。また、本研究会は学生や若手研究者の育成をはじめ、研究機関を超えた研究者交流に積極的に取り組んでいます。化合物太陽電池の開発研究における人材育成は広く知られており、多元系材料の研究成果の深い議論や研究を始める為の情報収集には絶好の研究会です。ご興味のある方は是非ともご参加・ご入会下さい。

**参加費：**研究会会員2000円、非会員4000円、学生無料

**懇親会・宿泊：**筑波山温泉・青木屋、<http://aokiya-hotel.com/>（費用は別途徴収）

## プログラム概要：

11月22日（金）（宇宙航空研究開発機構，筑波宇宙センター 総合開発推進棟 1F 大会議室）  
（※10:30-12:00で希望者は筑波宇宙センターの見学：詳細は後日webページで）

13:00-13:10 研究会委員長挨拶：和田隆博（龍谷大学）

13:10-13:50 招待講演：山口真史（豊田工業大学）

「多接合型超高效率太陽電池の現状と将来（仮）」

13:50-14:50 一般講演

14:50-15:05 休憩

15:05-15:45 招待講演：秦 雅彦（住友化学(株)）

「Ⅲ-V族化合物半導体ヘテロ接合技術の進展（仮）」

15:45-17:00 ディスカッション

「化合物系薄膜太陽電池の高效率化を目指して（仮）」

11月23日（土）（宇宙航空研究開発機構，筑波宇宙センター 総合開発推進棟 1F 大会議室）

9:10-9:50 招待講演：川北史朗（宇宙航空研究開発機構）

「CIGS系薄膜太陽電池の宇宙応用（仮）」

9:50-10:20 一般講演

10:20-10:30 （休憩）

10:30-11:50 ポスターセッション

11:50-11:55 閉会の辞

## 参加申込方法：

詳細は研究会ホームページを参照ください。

講演申込締切：10月23日（水）

問合せ先：川北史朗（JAXA）

TEL 050-3362-3488

筑波宇宙センター

